

平成18年度国立大学法人東京海洋大学臨時教育研究評議会議事要録

日 時 平成18年6月13日（火）10時～12時32分

場 所 楽水会館特別会議室（品川地区）

出席者 高井学長、岡本理事、刑部理事、今津理事、松山海洋科学部長、藤田海洋工学部長、竹内海洋科学技術研究科長、松下附属図書館長、上村評議員、庄司評議員、鶴田評議員、小池評議員

陪席：渡部事務局長

事務担当者：中川総務部長、鈴木財務部長、鈴木学務部長ほか事務関係者

議 事

審議事項

1 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

事務局から、資料1「平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）」について説明があり、審議の結果、重要事項等は当初に決めることとし、一部文言を適正な表現に修正の上、承認した。なお、学長から、今後は、経営協議会、役員会の審議を経て6月末日までに国立大学法人評価委員会に提出するので、その他意見等あった場合は連絡願いたい、また、意見に対する修正については執行部に一任願いたい旨提案があり、了承した。

報告事項

1 平成17年度の決算について

今津理事から、概略の説明があった後、事務局から、資料2-1「17年度決算のポイント」等により、決算内容の報告があった。

2 平成19年度概算要求について

今津理事から、資料3「平成19年度概算要求事項について（案）」等により、本学の概算要求関連事項の説明があった。また、施設整備費補助金については、長期借入等の対象範囲が拡大された旨、併せて説明があった。なお、学長から、文部科学省への概算要求事項及び順位については、執行部の責任で行うこととする旨説明があった。

3 国立大学法人東京海洋大会計規則の一部改正（減損会計関連）について

事務局から、資料4「国立大学法人東京海洋大会計規則の一部改正（減損会計関連）」について説明があった。

4 その他

松山海洋科学部長から、JABEEによる中間審査の認定を受けたこと、その際、「老朽施設については、概算要求するなどの措置が必要」と指摘された旨報告があった。また、耐震性能が低い学寮について、早急に検討委員会を設置してはどうかと提案があった。

以 上